

提言書

「Heart of Tajimi ーたじみ市民討議会 2016」

基本理念『日本一魅力あるまち「たじみ」』

2016年6月18日、19日に市民38人の参加を得て、『観光』に焦点を当てた討議会を実施しました。市民が如何に多治見の魅力を見直し行動するかについて意見交換した結果を以下に提言いたします。

討議テーマ1： 多治見で私がおすすめしたいところは？

多治見の素晴らしさを日々体感している市民が、自ら感じる多治見の魅力について話し合いました。この話し合いが次項以降の討議テーマを議論する土台となっています。ここで出た意見を今後の観光施策の参考にして頂きたいです。

○ 景観・歴史に関する意見

永保寺、修道院をはじめとする歴史的建造物、虎溪公園、潮見の森などからの眺望、桜、シデコブシ、ホテルや紅葉などの四季の風景などに魅力を感じるという意見が数多く出ました。また、これらを数カ所まとめて巡る意見も多くありました。

○ 体験に関する意見

地場産業である美濃焼に関連した作陶（ロクロ、絵付け）、モザイクタイルアート等の体験や、甘原のイチゴ、ブルーベリー狩り、地球村での自然体験などの意見が数多くありました。

○ グルメに関する意見

うなぎ、たじみそ焼きそば、うどん、ラーメン、和菓子やケーキなどのスイーツ、おいしいパン屋や喫茶店が多いなど食文化に対する意見が数多くありました。

討議テーマ2： あなたがPRするならどんなことをしますか？

市民は、自らが多治見の理解を深め、多治見ブランドを確立していくことを望んでいます。

1) 市民に多治見の魅力がPRできるような手法を求めます。

市民が多治見のことを深く理解し、それを伝えることができるような機会の創出を求めます。

- ・ スタンプラリーや市民向けバスツアー等、多治見を知ってもらう機会の提供を求めます。
- ・ SNSやメディア等をより活用し、多治見の魅力を広く市民に知ってもらう手法を求めます。

2) 多治見の地場産業をより活用することを望みます。

地場産業を一人でも多くの市民が体験できることを望みます。

- ・ 意匠研究所等と連携し、市民が気軽に絵付けや作陶体験できるような環境を望みます。
- ・ 陶器まつり等のイベントを盛り上げるために、市が企業と協力し合える関係を望みます。

- 3) 市民に愛郷心を持ってもらえるような環境づくりを望みます。
自分たちの住むまちのために動ける市民が増えるような環境を望みます。
 - ・ 市民が自ら観光名所の清掃作業を行えるような働きかけを望みます。
 - ・ うながっぱステッカーの全戸配布等、うながっぱによる多治見のPRを求めます。
- 4) 美しい景観を生かすための施設の充実を求めます。
修道院、永保寺等、魅力ある施設に触れることができる施設の充実を求めます。
 - ・ 遊歩道を整備する等、広く文化財を知っていただけるような環境の整備を求めます。
 - ・ 人が集まれるように道の駅や、うながっぱの待ち合わせ場所等の施設の充実を求めます。

討議テーマ3：あなたでもできる観光開発

市民は、自らが多治見を知り多治見の魅力を広く伝えることが観光開発に繋がっていくと考えています。

- 1) 1人でも多くの市民が観光開発に前向きになれるような環境を求めます。
積極的に多治見の魅力を伝えたいと考える人を増やす仕組みづくりを求めます。
 - ・ ボランティアを育成し、多治見の魅力を広く伝えることのできる人材を増やすことを求めます。
 - ・ 挨拶活動や清掃等、まちのために自主的な活動を支援できるような仕組みづくりを求めます。
- 2) 市民同士が気軽に集まれるような環境を望みます。
多治見の魅力を伝えたいと考える市民同士が交流できるような場所の創出を求めます。
 - ・ 既存の公共施設を有効活用し、市民が気兼ねなく集まれるような働きかけを求めます。
- 3) 多治見を市内外の人に広くPRできるような仕組みづくりを求めます。
まだあまり知られていない魅力を広く知ってもらえるような手法を求めます。
 - ・ 10万人観光大使を目指すために、多治見アピール隊等を市民が率先して作ることでできるようなサポートを望みます。
 - ・ SNSを活用し、多治見の魅力を広く伝えることのできるような体制を求めます。
 - ・ 多治見名産を贈答品などに活用するために多治見のロゴや公認シールを作成することを求めます。
- 4) 個々のイベントを連携させる仕組みを望みます。
多治見で開催される祭りやイベントに積極的に参加できるような仕組みづくりを望みます。
 - ・ 広く市民が参加できるように、多治見の祭りを集中開催（夜通し祭りなど）することを望みます。
 - ・ 若者が集まれるようなイベント（3Dマッピング、デートスポット）の開催を望みます。

2016年9月7日

たじみ市民討議会実行委員会
実行委員長 飯田雅弘